

参考資料1『前回審議会（9/17）の要旨』

<公園トイレのあり方について>

【事務局提案】

◆課題の概要

札幌市の公園トイレは888棟あり、維持管理コストは年間約3億円（年35万円/棟）で、公園維持管理費の14%を占めている。公園トイレの利用はトイレだけの利用が全体の8割を占め、利用が極めて少ない（1人以下/日平均）公園トイレもみられる。

◆公園トイレに関する市民意識

身近な公園において、利用の少ない公園トイレを廃止することについて6割以上が「妥当だと思う」と回答（2割が「反対」）

◆公園トイレの基本的考え方

「利用の少ない公園トイレは廃止していく」こととする。

利用度合は、公園内施設利用者のトイレ利用状況で判断する。

◆公園トイレの存廃の考え方

①近隣公園以上の公園トイレは存続

②街区公園の公園トイレは基本的に廃止

③街区公園でも遊水路のある公園のトイレは存続

④廃止対象の公園トイレ（遊水路のない街区公園のトイレ）については、地域住民と話し合い、利用状況等を見極めた上で最終判断

「利用が多い」「ニーズが高い」公園トイレを存続させることとするが、存続させる場合でも小規模トイレに変更したり、清掃作業を地域に任せる等、更新や維持管理のコスト縮減方法を検討する。

質疑・ご意見① 公園トイレの利用および維持管理の実態について

◆廃止の場合、どのようなスピードで廃止が実施されるのか？

→市：耐用年数が40-60年なので、平均で年間10棟程度の存廃を検討することになる。

◆遊水路のある公園で相対的に利用が多いのは、水道の利用のためではないか。水道そのものを残すことが重要ではないか？

→市：調査では実際にトイレを利用した数である。水飲み台は存続させる。

◆公園トイレが使われない理由は？汚いとか怖いなどがあるのではないか？

→市：公園トイレは週1, 2回の清掃で、清掃が行き届かず使いにくいことは実際にある。古い公園トイレは和式だが、建替える場合は多目的トイレにして使い易くする。

◆街区公園の公園トイレがなくなることのデメリットは何か？

→市：アンケートからは高齢者や子どもの使用ができなくなるという、廃止に反対する意見があった。ただ街区公園の誘致圏は250mのため、5分程度で自宅に帰ることができる想定。

◆トイレのみの利用もニーズでは？コンビニなどのトイレ利用などと一緒に考える視点は？

→市：トイレのみの利用も利用者。車両で来られる利用者は10分程度で近隣公園への移動が可能と考えている。

◆毎日清掃するとどれくらいかかるのか？

→市：現在、清掃回数は週1回、2回のところもあるが、8,000万円/年かかっている。回数を増やせば、それに応じて増えていく。

◆清掃業者の実態はどうなっているのか？

→市：街区公園では民間の清掃事業者に業務委託をしている（指定管理者ではない）。減れば委託も減るが、平均すると年間10棟程度で激減するということではない。

◆市としてトイレを廃止した事例や、トイレのない公園で夏祭りを実施している例などあるか？

→市：廃止はまだない。夏祭りを実施している例はある。トイレがない場合は自宅に対応。

◆トイレの構成に男女の比率はあるのか？

→市：小さいところは男（大1、小1）女1。大きいところは男（小2、大1）女2。最近は身障者向けの多目的トイレを真ん中に設置している。

質疑・ご意見② 公園トイレのあり方について

- ◆女性や子どもの防犯面から、街区公園の小さいトイレの廃止に賛成。大きな公園では車椅子対応にするなど改善してほしい。和式は使いづらく、洋式に年寄りの利用が集中するので、残すなら洋式化を。
- ◆高齢者が多くなるので、税金はかかるができるだけ公園トイレを残した方がいいのではないか。調査結果で本当に必要がないのであれば廃止でもよい。
- ◆基本的に街区公園のトイレを廃止していく方向性については賛成。大きな街区公園のトイレを残すのであれば、その面積の線引きが難しいと思われる。また利用の地域差があると思われるので、実施していく上で想定されないケースが出た場合、丁寧で柔軟な対応を。
→市：単純に街区公園の面積が大きいから残すということは考えていない。公園トイレの存廃を決めるときは、立地条件や地域の利用ニーズの有無を持って検討していきたい。
- ◆トイレのある公園が密集しているエリアを特定できれば、そのエリアから廃止を優先的に検討していく方法もある。
- ◆相当額が維持にかかっている。街区公園の公園トイレは基本廃止に持っていく事態にきている。地域住民との話し合いでは、「夏祭りで必要」などの意見がでるが、それ以外はほとんど使っていない。トイレがない公園では町内会でレンタルして運用している。
- ◆大局的な話し合いにするため、連合町内会と話し合いをした方が良いのではないかな。
- ◆公園の周りに市の施設のトイレがあれば、そちらを利用することも地域との協議で説明するとよい。便座の除菌シートは清掃になるので、清掃を町内会に任せる検討の中でそのいったものの設置も検討してはどうか。
- ◆地域での慎重な検討が必要なことから「基本的に廃止」の表現は、例えば「廃止を前提として検討する」の方がこれまで議論したことをうまく表現できる。

審議まとめ

- ◆事務局案に賛同する。
- ◆以下の意見等を答申案に加える。
 - ・存続する公園トイレについては、バリアフリー化など、よりトイレを使いやすくしてほしい
 - ・周囲の公共施設の配置や地域事情によっては、丁寧で柔軟な対応をしていくことが必要
 - ・地域での慎重な検討が必要なため「基本的に廃止」の表現は「廃止を前提として検討」などにする

<審議のまとめについて>

【事務局提案】

◆審議のまとめ

これまでの審議結果を整理して確認

◆本件における市民（地域）意見の反映

当審議会で公園施設の基本的な考え方を審議。この考え方を長寿命化計画の基本計画に盛り込み、候補となる公園の抽出・年次計画・進め方の検討など運用計画を立てる。

運用では対象地域の特性を把握した上で、地域との協議で機能分担の実施や施設の存廃が決定される。公園や地域はその周辺の状況や地域ニーズがそれぞれ異なるため、地域との協議を通じその結果を個々に反映させていくことで市民（地域）意見を十分に反映させることができる。

質疑・ご意見 審議のまとめについて

（異議なし）

審議まとめ

◆事務局案に賛同する。

<答申素案について>

【事務局提案】

◆素案の構成

これまでの審議結果を整理し、下記の構成で素案を呈示。

はじめに

1. 公園施設長寿命化計画について
2. 公園の機能分担の考え方について
3. 有料運動施設のあり方について
4. 公園トイレのあり方について（次回提示）

◆はじめに

諮問に至った背景および目的の概要と、審議会における諮問内容、答申の反映を記載。

◆1. 公園施設長寿命化計画について

全国的な動向や国の方針、札幌市の公園の特徴を踏まえ、長寿命化計画に盛り込む札幌市独自の考え方を提示。

- 1-1 全国的な動向と国の方針
- 1-2 札幌市の公園の特徴
- 1-3 札幌市における公園施設長寿命化計画
- 1-4 長寿命化計画に盛り込む札幌市独自の考え方

質疑・ご意見 答申素案①について

◆重要な図版が一部、つぶれているため修正が必要

◆「都市公園」の意味は？

→市：都市公園法に基づき管理している公園

審議まとめ

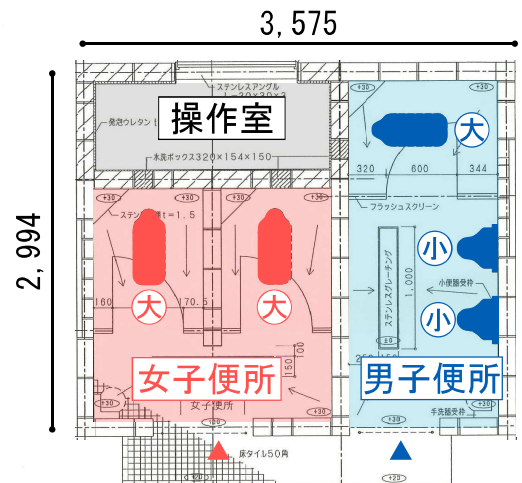
◆はじめに～1章について指摘事項を修正し、事務局案を答申案とする。

◆2章以降は、次回の審議とする。

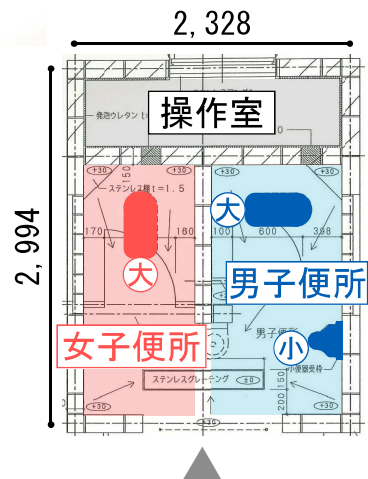
参考資料2 トイレ平面図

旧型

C 型平面図 (男大1小2・女大2)

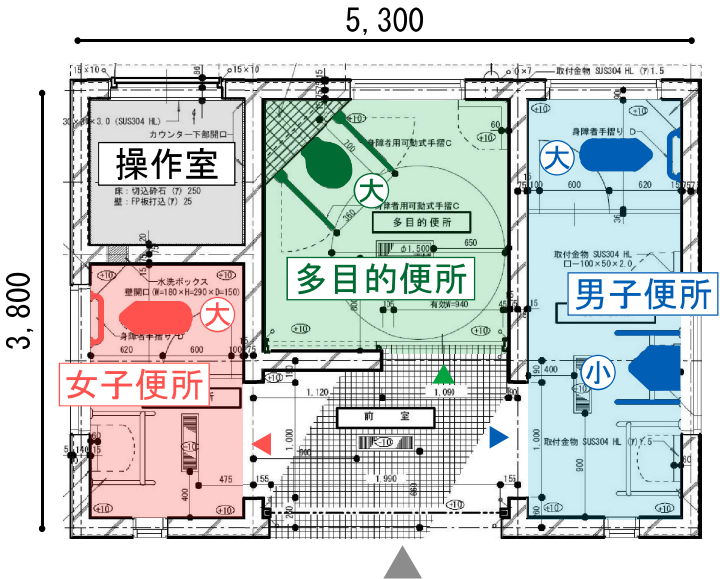


E 型平面図 (男大1小1・女大1)



新型 (ユニバーサルデザイン)

新 C 型平面図 (多目的1・男大1小1・女大1)



新 E 型平面図 (多目的1・共用大1小1)

